

委員間の協議

議案第1号

これまでの対策でも、一定の効果が  
出ていることが確認できた。  
市にとつても、雇用される方にとつ  
ても大変良い制度だと思ふ。

今後、新型コロナウイルスの影響による離職  
者等が増えた場合には、必要に応じて、  
さらなる募集の拡大も考慮してほしい。

議案第15号

新型コロナウイルス感染症防止策として効果が  
あると確認できたので、良しとしたい。  
新型コロナウイルスに係る議案全般につい  
て

これまでも市として努力していると思  
ふが、早く手をつけ、やれることは  
最大限やっていくことが大事だと思  
うので、今後もスピード感を持って取り  
組んでほしい。  
などの意見があり、賛成。

経済建設分科会

議案19件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 令和3年度函館市一般会

計予算(経済建設分科会関係部分)

○企業誘致推進費 企業立地動向調査  
事業費

・調査の概要や効果、今後の方向性  
○魚類等養殖推進事業費 キングサー  
モン完全養殖技術研究費

・完全養殖技術確立の見込みやメリ  
ット、事業の進め方  
○サクラ環境対策費

・これまでの維持管理の状況  
・事業の進め方と効果  
主な理事者の説明

議案第1号

○企業立地動向調査事業費

事業内容は、信用調査会社の保有す  
る企業のデータベースを活用し、首都  
圏のIT企業や製造業の中から「函館  
の企業と取引がある」等の条件に該当  
する対象企業約500社へ、地方への立地  
・開設意向のほか、重要視する点や求  
める行政支援、ワーケーション導入意  
向などの項目も含めたアンケート調査  
を行い、地方拠点立地への企業ニーズ  
等も把握する。その効果として、地域  
の強みを明確にするとともに、ニーズ  
を踏まえた新たな支援策の創設を検討  
するなど、より訴求力のある取組につ  
ながるものと期待している。

今後は、令和2年度から実施してい  
るワーケーションで新たな企業との接  
点づくりに取り組んでいくほか、本事  
業により企業の意向やニーズの変化を  
いち早く把握し、それらを踏まえた地  
域の強みを打ち出すなど、アフターコ  
ロナに即した効果的な企業誘致の取組  
を進めてまいりたいと考えている。

○キングサーモン完全養殖技術研究費

キングサーモンは生態や育種などに  
関する知見が不足していることや、希  
少性が高く親魚確保の難しさから国内  
での完全養殖技術は確立していない  
が、北大大学院水産科学研究院の発眼  
卵の孵化技術と、ほかのサーモン類の  
養殖技術を参考にしつつ新たに取組  
まなければならぬと考えており、種  
苗生産についても、北大が人工孵化さ  
せた人工魚と、定置網で混獲された天  
然魚を飼育し、各関係機関との共同研  
究でDNA解析や遺伝資源の保存技  
術、馴致試験など、データやノウハ  
ウを蓄積しながら技術を確立してま

いりたい。

養殖では餌が重要になるが、餌料の  
経費が大きな負担となるため、高品質  
なサーモンの養殖と経営コストの抑制  
を両立できる餌料の開発が必要になる  
ほか、養殖経営に大きなダメージを与  
えかねない魚病への対応策、養殖漁場  
の環境負荷の軽減対策の検討など、多  
くのハードルを乗り越えなければなら  
ず、本事業は中長期的な取組になる。

○サクラ環境対策費

五稜郭公園、函館公園、見晴公園の  
桜の維持管理は、園内のほかの樹木と  
同様に倒木の恐れがある危険木の伐採  
や、害虫防除の薬剤散布などを実施し  
てきた。桜特有の管理では、てんぐ巢  
病で密に発生した枝、腐朽が生じた枝  
の剪定を実施してきたところである。

令和3年度の事業では、3公園の約  
2千100本全ての桜を、初期診断として  
樹木形状や活力状況を把握する生育状  
況調査、空洞化や腐朽など木の構造的  
な欠陥を把握する危険度調査で桜の健  
全度を評価して個別カルテを作成し、  
今後の桜の育成や治療などの具体的  
な延命化対策につなげるとともに、毎年  
の調査により、経年的に活力状況や腐  
朽状況を把握することで必要な対策を  
講じることにより、それぞれの桜の  
延命化を図ることができると考えて  
いる。

委員間の協議

議案第1号

○企業立地動向調査事業費

コロナ禍の影響で誘致の取組が難し  
くなっている中で、地方拠点に対する  
意向やニーズの変化をいち早く把握し  
地域の強みを打ち出すなど、効果的な

取組を検討しており、期待が持てる。

○キングサーモン完全養殖技術研究費

キングサーモンに着目したことへの  
期待が非常に大きい。  
これから知見を積み重ねていかなけ  
ればならないが、将来地元漁業の振  
興に寄与する取組だと期待している。

○サクラ環境対策費

20年前から議会で取り上げられてき  
ており、今回診断を行うのは非常に良  
いことだと思ふ。  
などの理由で賛成。

また、本分科会が所管している事業  
は、新型コロナウイルスで大きな影響を受けて  
いる事業者や産業に関わる予算であり、  
機敏に、実効性が高まるように進めて  
いくべきであり、実態に基づいて、柔  
軟に対応してほしい。  
との意見あり。

民生分科会

議案49件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 令和3年度函館市一般会

計予算(民生分科会関係部分)

○パートナーシップ制度導入検討経費  
・予算の内訳

・市民啓発のための方策  
○地域で見守り支える福祉拠点推進  
経費

・気軽に立ち寄れるための工夫とP  
R  
・人材確保と研修要件

議案第73号 令和3年度函館市一般会

計補正予算(民生分科会関係部分)

○函館市子育てサポート商品券発行事  
業費  
・事業の内容